



美術教育支援協会

発行・編集／事務局 〒167-0051 東京都杉並区荻窪 4-20-11 電話：03-3398-9155 FAX: 03-3398-9158
e-mail: info@npoaes.org HP: npoaes.org

現在会員数:99名(協賛5社)



◆ 理事長ごあいさつ

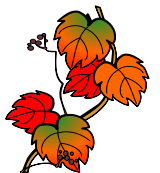
理事長 谷岡 清

春たけなわとはいえ、今年は例年になく厳しい寒さが続いたため、梅も桜も開花が遅れたようです。大震災と放射能汚染の影響を強く受けた東北地方への春の訪れは、いつになるのでしょうか。

一昨年、福島県の三春にある滝桜を見る機会がありました。まさに満開にさしかかる最高の見ごろで、その美しくも崇高なる姿は、今も目に焼き付いて離れません。古来、「花」と言えば桜を指す日本では、桜に寄せる想いは深く、名画や和歌にも詠まれ、春を迎える喜びとともに、心ときめく感動を与えてきました。最近は、「なでしこ」という強敵が現れましたが、今年も日本全国に喜びと感動の花を咲かせてくれることを願っています。

当 NPO 美術教育支援協会も、昨年は震災の影響が大きく、複製名画による「世界の名画展」も、会場や人員などの問題もあり、活動を一時中止せざるを得ませんでした。皆様の心が少し落ち着き、名画で心を癒していただく時期が来れば、さらに活動を広げていきたいと考えています。

昨年は、「全日本社会貢献団体機構」より助成をいただき、感謝しております。当 NPO 協会では、例年の活動の一環として、昨年に続き今年度も、障害者美術教育の支援を行っていきます。また、3 年目を迎えた講演「世界の美術館の旅」シリーズも、会員の皆様のご協力を得て無事開催、多くの方々に参加していただきました。今年も、いっそう充実した内容で開催（別項参照）する予定ですので、ご支援のほど、よろしくお祈りします。



◆ 今年の土曜フォーラム 2012 秋に開催予定！

◆谷岡講師から——最近海外の美術館を訪れる方が増えています。この「世界の美術館の旅」シリーズでも、多くの方から「以前この美術館に行く前に、お話を伺っていただければ、もっとよかったのに…」とのお言葉をいただきます。その時はこうお答えしています。「今度行ったらもっと楽しいですよ」と。たとえ行く機会がなくても、そう思ってみるだけでも心楽しくなりませんか？

◆今年の秋も、以下のような世界の有名美術館への旅を用意しています。いずれも中身の濃い美術館ですから、ご期待ください。

- ・第一回ギリシャ「オリンピア美術館とデルフィ美術館」—今年オリンピックの年。発祥の地を訪ねます。
- ・第二回フランス「オランジュリー美術館とモネの庭」—浮世絵の影響を受けたモネの日本庭園と睡蓮の名作。
- ・第三回オランダ「アムステルダム美術館とレンブラント」—世界最高の画家の一人レンブラントの超絶技法に迫ります。
- ・第四回アフガニスタン「カーブル博物館とバーミヤン遺跡」—爆破前に撮影した貴重なフィルムで、失われたシルクロードの幻の名宝を再現します。

◆すべて鮮明なスライドによる大画面で現地美術館をご案内します。

◆期日・会場が決まり次第、ホームページ等でお知らせします。※会場は区施設のため3ヶ月前からでないご予約・抽選などが始まりません。いつも告知が遅れてご迷惑をおかけしますが、何卒ご了承ください。

◆ 2011 年 土曜フォーラム報告

事務局より

2011 年の土曜フォーラムは 3 月に東日本大震災が起き大変な年でしたが、秋に開催をいたしました。会員の皆様にも多数ご参加いただきまして、4 日間の合計で延べ 167 名のご出席者を数えました。ありがとうございました。また、ボランティアでお手伝いをいただきました皆さまにも重ねて御礼を申し上げます。
 於：杉並区・荻窪地域区民センター(東京都杉並区荻窪 2-24-20)各日共:14 時～16 時半 講師・谷岡 清
 ・第一回 23/10/22(土)『ヴァチカン美術館』 イタリア・ローマ(ヴァチカン市国)・第二回 23/10/29(土)『カイロ博物館』 エジプト・カイロ
 ・第三回 23/11/19(土)『プラド美術館』 スペイン・マドリッド
 ・第四回 23/12/ 3(土) 『陝西省博物館』 中国・西安

◆ 2011 年土曜フォーラムに参加して

受講者より

I. 土曜フォーラム『世界の美術館の旅 part3』を受講して

栗原 紀夫

2011 年 10 月～12 月にかけて、毎年恒例の、NPO 法人「美術教育支援協会」主催の土曜フォーラムが開催されたが、講師の谷岡清理事長は、各回とも 2 時間半の間、興味深くも濃密な内容を原稿も使わず臨場感に溢れる語り口で、鮮明な画像と相まって我々聴講者を現場に誘って頂ける。

・第 1 回 10 月 22 日 『ヴァチカン美術館』

世界一小さな国といっても、国中が美術館のような場所。特にシスティーナ礼拝堂の天井画だけ見てもどれ程時間を要することだろうか。しかも洗浄・修復の前後など興味深い画像を目にしたがらの解説など、投影される写真の多さと質の高さに心を洗われる。

・第 2 回 10 月 29 日 『カイロ美術館』

エジプトの歴史の長さや建造物の大きさに息をのまされた。毎年の洪水期毎、数万人の労働人口を集め、指揮して後世に残るピラミッドなどを建造した組織力、科学力を駆使していたとは。その頃、我が日本のご先祖様達が、ようやく縄文後期を迎えようとしていたとは。

・第 3 回 11 月 19 日 『プラド美術館』

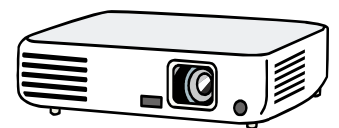
スペインが、「エル・グレコ」「ベラスケス」「ゴヤ」と自国の画家 3 人を中心としてこれだけの美術館を立ち上げた事に大きな誇りを抱いている。この三人以外に、レンブラント、ルーベンスなどの作品も収蔵されて居る所蔵品の数々が鮮やかな色で投影される。

・第 4 回 12 月 3 日 『陝西歴史博物館』

37 万点の収蔵品を誇るこの博物館は、唐時代となると数も多く、唐三彩など我々の目にも見慣れた物も多く何やらホッとします。参考にと映写された、正倉院御物の鮮やかな写真と比較すると、さすが出土品と伝世品との差が明らかだ。最後に始皇帝の兵馬俑群の映像を見てさらに目を見張った。以上大変充実した四回に渉る今回の受講を終えた。



土曜フォーラム会場風景



II. 楽しい土曜日の午後 (土曜フォーラムに参加して) 湖東 志守子

私が谷岡先生と出会ったのは、今から 8 年前。イラン旅行でのことだった。旅行中の印象は、「寡黙な紳士」であった。しかし、帰りの飛行機を待つ時間、私が東山魁夷氏のファンだと知ると話が大きい盛り上がり、出発までがあっという間に過ぎてしまった。土曜フォーラム「世界の美術館の旅」は、そんなご縁で聴講するようになった。

フォーラムでの 2 時間半という時間は、先生にとって短過ぎるようで、最後の方になるとつい早口になってくる。「よくこんなに長く、途切れること無く喋れるよなー。」大学で講師をしたことのある主人は、感心することしきりである。そして、説明の間にさりげなくジョークが入るのだが、実はこれが曲者。うっかりすると少し遅れて気づくこととなる。笑うタイミングを逃し、悔しい思いをすることが多々ある。

講座からの帰り道、「システィーナ礼拝堂、僕が行った時は修復前で、あまり印象に無いなー。」
 「あら、かわいそう。僕が行ったのは修復してすぐだったから、鮮やかなブルーがとても綺麗だったわよー。」
 「僕が西安に行った時は、陝西省博物館なんてまだ無かったよ。」
 「へー、時代と共に変わってゆくのか。」
 などと、倦怠期の夫婦に若かりし頃の恰好の話題を提供してくれるのもまた嬉しい。

さて、次回の土曜フォーラムでは、どこに連れて行ってもらえるのか。東山氏の話もまだのことだし、どんな隠し玉が出てくるのか、期待で胸が膨らむ。

◆ 2011 年度事業報告 H22. 4. 1~H23. 3. 31

2011/4/1 新年度スタート
 4/5 日本財団へ報告書提出
 4/11 CrazyCats 美術出張講座 2 回/毎月スタート
 6/29 第 1 回理事会
 7/20 全日本社会貢献協議会から助成を受ける
 9/6 CrazyCats 美術出張講座 2ヶ所 3 回/毎月に増回
 9/10 学校美術館運動スタート
 10/4 第 2 回理事会・アンケート結果
 10/8 NPO 推進センター助成講座出席

10/22 土曜フォーラム第 1 回『ヴァチカン美術館』開催
 10/29 土曜フォーラム第 2 回『カイロ美術館』開催
 11/19 土曜フォーラム第 3 回『ブラド美術館』開催
 12/3 土曜フォーラム第 4 回『陝西歴史博物館』開催
 2012/1/30 第 4 回理事会・会員宛送付美術展決定
 2/5 北海道北斗小との学校美術館に関する電話打合せ。
 懇談会は 7 月へ繰延べ
 3/25 会報 Vol.4 編集作業

◆ 世田谷作業所『Crazy Cats』報告 & ブログより

当協会の横山ジュリア奈々さんが CrazyCats において月 3 回の美術講座を開催しています。(受講者ブログから)
 今日は、美術クラブのみんなと梅を見にいきました。
 いつもは室内で、デザインを考えますが、そればかりでは煮詰まってしまう。そこで、みんなで羽根木公園に出かけ、梅の花を観察してもらい、そこから浮かぶイメージでデザインを作ってもらいました。いつもとは違う刺激になったのではないのでしょうか。梅まつりは、とうに過ぎていますが、現在、梅が見頃です。今年の冬が長かったということですねえ。(モウ治郎)



◆ 北海道・千歳市立北斗小・緑小から

複製画を使った鑑賞授業 ……山崎愛彦(北斗小学校)先生のブログから

北海道の千歳には美術館がありません。ですから複製画は有効な鑑賞資源となります。複製画に対して「どうせ、偽物」とか「やっぱり本物じゃないとね」なんて発言を聞く事もあります。確かにそのような面はあるでしょう、でも、はじめて見る人にとっては、本物とも言えるでしょう。ここでは、近隣の小学校の先生がされた「対話による鑑賞」を参考にした授業を紹介します。授業者の田中美穂さん(千歳市立緑小)は、もう一人の学年教師と支援員で入っている方々の協力を得ながら、授業をされました。授業を終えての田中さんのお話から、子どものよさが十分発揮されていることが、よくわかりました。

【複製画を使った鑑賞授業】…千歳市立緑小 田中 美穂

■**題材のねらい** 学習中に友だちの作品を見ることは積極的に行う児童達ではありますが、美術作品を見に出かける機会はほとんどありません。まずは、児童が日頃あまり見ることのない名画に触れさせたいと思いました。そして、自由に作品を語り合う活動から、作品の見方や感じ方がさまざまであることに気づき、絵を見るのが楽しい、また絵を見たいと思える気持ちを育てたいと考えました。

■**準備** ①フェルメール『天文学者』 ②ミレー『種蒔く人』 ③ゴーギャン『タヒチの女』 ④シャガール『婚礼』
 (「美術教育支援協会」から複製画を借用している千歳市立北斗中学校の山崎先生から拝借。対象の児童は 6 3 名(2 クラス)なので、4 つのグループに分けるため、4 枚の絵を用意)

⑤授業の最後に使う解説文を書く用紙(表)とふりかえりカード(裏)

■**授業の流れと児童の様子** それぞれが自由に、展示している 4 枚の絵を鑑賞する。一番気に入った絵の前に座る。(もしも、人数が偏りすぎていたら、第二希望の絵に移動してもいいという人は、移動してね。)

担当者が絵を持って移動し、4 つの教室に分かれて絵について自由に語り合う。児童の発言はできるだけ黒板に書き残す。

■**学習を終えて** 《児童の様子から》

・私が担当した絵(シャガール『婚礼』)を選んだ児童は、どちらのクラスの中でも比較のおとなしくて、クラスの仲間からも発言を尊重されていません。この子達がとても生き生きと次々に発言したのは驚きました。「周りが暗いのは、結婚を喜んでいないからではないか」「喜びたいけれど、喜べない環境なのでは?」「この絵、横にしてみると新郎が死んだ新婦を抱いているように見えない?これって、結婚に見せかけて、本当はお葬式じゃない?」「後ろが少し明るくなっているのは、遠くで火が燃えているから?戦争中なのかな?」「イヤ、太陽が昇ってきているんだ。これから明るくなるんじゃない?」「新しい人生がスタートするってこと?」

・交流したことをもとにこの絵を解説しようと呼びかけた後でも「先生、もう一度見ていい?」としばらく絵を見ていました。児童同士「ここって、よく見るとこう見えない?」「やっぱり、これは火事の明るさじゃないと思うんだけど…」
 「この人だけ明るい色の服を着ているのって、何か特別な意味があるのかな」などと話し合っている姿もありました。

また、解説文を書く途中で絵を見に来て、じっと考え込んでいる姿もありました。

・普段おとなしい子がたくさん発言をしたり、じっとしていられずに注意されているような子が集中していたことに驚きました。児童の新しい顔を発見した気持ちです。



◆ コラム ちょっとひと休み

役員のひとつこと

「今年のお誕生日で半世紀の私ですが、先月里帰りした際に、高校時代の吹奏楽部の OB が練習している会場に顔を出しました。昨年、恩師の定年を祝う会から誰かが口火を切り、始まったおやじとオバさんの吹奏楽です。見学だけのつもりが、なんと 25 年ぶりに私もクラリネットを吹くことになりました。曲目は、懐かしの「ホルストの第一組曲」と「ラブソディ・イン・ブルー」最多人数 19 人が、先輩の指揮のもと合奏。指は覚えているものですね。ちゃんと井やトも使いこなせました。ところが、口の周りの筋肉が持ちこたえられず、息が洩れるので、1 小節ごとに勝手に休憩！！ちゃんとクラリネットの筒の中に入っているのは 2 割。8 割は、唇の左右から「ポーーー」と洩れているのです。あー残念！昨年からやっている仲間みんながそのような状況です。でも、楽しかった！自宅のクランポンのクラリネットを引っ張り出して、口の筋肉を鍛えてからまた参加したいなーと思ったのでした。(J.O)



◆ 事務局より会費納入のお願い

【第 4・5 期会費納入のお願い】

お蔭様で現在 99 名の会員（協賛会社含む）の方々がいらっしゃいます。つきましては次年度も変わらず会員継続をお願いしたいと存じます。お手数ですが 5 期の会費がまだの方 (H23. 4. 1～H24. 3. 31) と新たに 6 期の会費 (H24. 4. 1～H25. 3. 31) 各期 3,000 円を下記へお振込みいただきますようお願いいたします。
(H23. 1. 1 以降ご加入の会員様は有効期間を H24. 3. 31 としてお取り扱いいたします)

- 三菱東京 UFJ 銀行・荻窪支店：普通 1792572 トクエイカクトウホウジンビジュツキョウイクシエンキョウカイ
- 三井住友銀行・荻窪支店：普通 0568070 トクエイカクトウホウジンビジュツキョウイクシエンキョウカイ
- 郵便振替 00140-2-318540 トクエイカクトウホウジンビジュツキョウイクシエンキョウカイ

◆ 事務局長から・今年 (2012 年度) の美術館入場券送付について

明るい陽射しの春を向かえ会員の皆様にはいかがお過ごしでいらっしゃいますか。

昨年のわが国はまさに激動激変の年でありました。東日本大震災とそれに伴う福島原子力発電所の事故、さらには台風 12 号による甚大な被害など、当たり前としてきた日常生活がいかにありがたいことであったかと、改めて知らされた一年でありました。新年度は新たな気持ちで活動に取り組んで参る所存です。

作家・曾野綾子さん曰く「人生想定外という状況は必ず起きます。その時超法規的に生きる方途を自分の頭で考えられる人を改めて多く教育することが震災後に生き残った世代の本当の使命なのです」と……。美術教育がその一翼を担っているとすれば我々美術教育支援協会の果たして参らねばならない役割も重大なものと思えます。そんな活動に従来にも増して取り組む一年と致します。

恒例の展覧会ご招待は、本年 6 月 30 日 (土)～9 月 17 日 (月) の期間で 東京・上野の新装 東京都美術館にて開催される

◆ 『マウリッツハイス美術館展』(オランダ・フランドル絵画の至宝

URL:www.asahi.com/mauritshuis2012/)

フェルメール「真珠の耳飾の女」「ディアナとニンフたち」などの招待券二枚を贈呈させていただく事になりました。(但し 2011 年・12 年会費納入会員様へ・未納の方は同封の振替票にてご入金確認後にお送りいたします)。今後とも各種支援事業に対するご協力、ご参画を宜しくお願い申し上げます。

(事務局長・簗島紘一)